

(熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等

「熱中症予防声かけプロジェクト」ひと涼みアワード2013における 『行政トップランナー特別賞』受賞について

1. 実施日時等 平成25年11月7日(木)
2. 会場・主催地 表彰式会場：東京ウィメンズプラザ(東京都渋谷区神宮前)
3. 主催者・関係者 熱中症声かけプロジェクト実行委員会

* 企業、行政、民間団体が賛同会員となり、気象、スポーツ、環境分野の学識経験者13名の実行委員により運営されている。環境省は実行委員。
4. 事業内容

環境省をはじめ、全国2,887の企業、行政、民間団体で組織される、熱中症予防を推進する運動「熱中症声かけプロジェクト」において、合計302の取組の中から、本市の暑さ対策事業が最も優秀であると認められ、『行政トップランナー特別賞』を受賞することとなった。参考URL：<http://www.hitosuzumi.jp/> (熱中症予防声かけプロジェクトHP)
5. 目的・理由

実行委員会事務局により、熱中症予防対策について、汎用性・有効性・波及性のある取組を選定。そのなかで、行政の取組として最も評価の高い『行政トップランナー特別賞』として表彰される。本市の暑さ対策事業が評価対象で、昨年の「トップランナー賞」に引き続き二年連続の受賞となった。
6. 経緯・経過

平成23年6月に、本市は「熱中症予防声かけプロジェクト」の行政賛同会員として登録。各種暑さ対策事業や、暑さ対策プロジェクトの活動を定期的に報告、情報提供。
7. 影響・効果

平成24年度は、前年の熱中症救急搬送人数と比較し26%の減少となった。また、今年度は、猛暑の影響で人数は増加したものの、熱中症による死者はおらず、「暑さにまけるな中学生」事業により熱中症予防の研修を全員が受けた中学生においては、搬送件数が大幅に減少となった。(H23:12人、H24:6人、H25:2人)
8. この事業の実施による特記事項

ひと涼みアワード2013において、提出された全302件の取組中34件が「最優秀賞・優秀賞・優良賞・特別賞」の表彰を受ける。

 - (1) 県内の状況 県内で初めて イ. 県内で 番目
 - (2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

※ 資料の有無 (・ 無)

担当課 総合政策部企画課

担当者 地域活性化担当副参事 小林 教子

連絡先 TEL 048-524-1115

主任 小谷 隆幸



「ひと涼みしよう」

熱中症予防声かけニュースリリース

2013年9月11日

賛同会員の皆様

こんにちは。熱中症予防声かけプロジェクト運営事務局です。

熱中症予防声かけプロジェクトにご賛同いただき、ありがとうございます。
第12回目のニュースリリースをお送りします。

1週間に1回程度、パブリシティ報告や新着情報、
賛同会員の仲間たちの活動報告、
イベント情報などをお送りしていく予定です。どうぞお楽しみに!

Vol.12
!コノ次バ !

埼玉県熊谷市の取り組みをアップしました！



活動報告

『日本一暑いまち』から『暑さ対策日本一のまち』を目指して、 市民の健康を守る取り組みを行っていきます!!

熊谷市では、平成19年8月16日に当時の国内最高気温となる40.9°Cを観測し、また全国有数の快晴日数を持つ地域性を生かし、これまでヒートアイランド対策推進宣言都市として、熊谷流の環境共生型ヒートアイランド対策の取組に力を注ぐこととし、熱中症対策も積極的に実施してきました。

平成22年度からは、暑い夏のまちをクールダウンし、「暑さ」から市民を守るとともに、「暑さ」を活用した地域の活性化と情報発信を図ることを目的として、「暑さ」に対する新たな対策と活用の施策を調査研究し、企画立案するためのプロジェクトチームを、市の若手職員で結成し、次の事業を実施しています。

- 暑さにまけるな中学生事業 (平成23年度～)
- まちなかオアシス事業 (平成23年度～)
- 熱中症予防グッズ配布事業 (平成23年度～)
- 涼しさ体感アート事業 (平成23年度～)
- PR事業 (平成23・24年度)
- デジタルサイネージ設置事業 (平成25年度・新規)
- クール＆スマイル時計事業 (平成25年度・新規)
- 保育所ひんやりペタペタ事業 (平成25年度・新規)



過去のデータによると、熊谷市の熱中症による救急出動、救急搬送人数は、年々増加しています。しかし、平成24年度は、昨年の救急搬送人数と比較し、34人の減少となりました。また、熱中症予防の研修を全員が受けた中学生においては、熱中症での搬送件数が大幅に減少となりました。

本市では、熊谷から熱中症患者を出さないことを目標に、暑さ対策をはじめとする様々な対策を実施し、熱中症予防を呼びかけています。



活動報告

【埼玉県熊谷市】取り組み報告

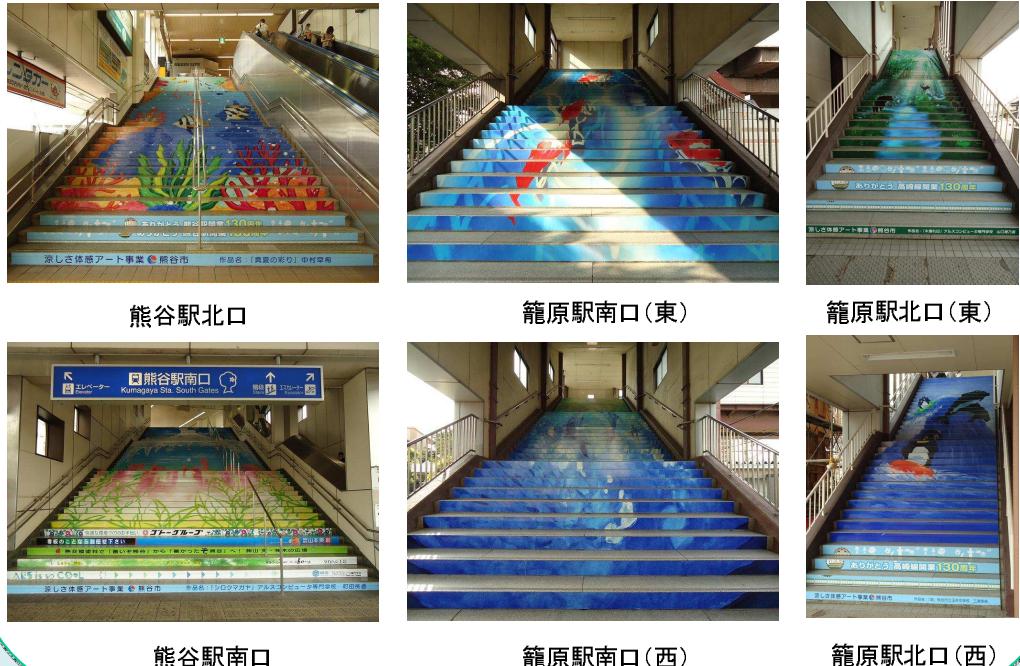
○「暑さ対策」暑さにまけるな中学生事業

熱中症を予防し、いざというときの知識・スキルを身につけるため、市内全16校の中学2年生を対象とし、AEDを活用した救命処置を含む、熱中症対策講習を学校の授業の一環として実施



○涼しさ体感アート事業(階段アート)

「涼」「水」「青」をテーマに、広く市民に公募し決定したアート作品を展示



○熱中症予防グッズ配布事業

全小学生、単身高齢者及び75歳以上の高齢者全員を対象に「クールスカーフ」を配布



○クール&スマイル時計事業(新規)

インターネット上に市民が登場した本市オリジナル時計を掲載するとともに、人気サイト「美人時計」に市民モデルが登場する枠を設け、本市HPの中の「暑さ対策」とリンクさせることにより、本市の施策の認知度を高める

活動報告

【埼玉県熊谷市】取り組み報告

○まちなかオアシス事業

屋外で気分の悪くなった市民のために、庁舎や公民館など市内21ヶ所に、水分補給などができる一時的な避難場所を設置



○デジタルサイネージ設置事業(新規)



電光掲示板を指し示す富岡清熊谷市長

熊谷駅構内に電子掲示板を設置し、熱中症予防情報や行政情報、観光情報、災害発生時の緊急情報等を文字情報により発信

○保育所ひんやりペタペタ事業

(新規)

コンクリート部分に熱交換塗料を塗布し、炎天下においても温度上昇をおさえ快適で移動しやすい保育スペースを創出



○PR事業

暑さ対策のCM(映像)の作成し、市内の映画館等で放映

「クールスポット紹介」編



活動報告

【埼玉県熊谷市】取り組み報告

○ 「クールシェアくまがや」

- ・日本一あついまち“くまがや”から、ひとり一台のエアコンの使用をやめ、涼しい場所に集まることで、電力消費を減らす。人と人のつながりを深め、コミュニティやまちの活性化というプラスの価値を生み出す取組。
- ・クールシェアは、環境省の提唱する「スーパークールビズ」の大きな柱となっている。
- ・参加団体は、熊谷青年会議所、熊谷商工会議所、熊谷市のほか、環境関連団体、商工会、商店街連合会、自治会連合会、PTA連合会、立正大学、建築士会などにより、実行委員会形式で活動している。

※「クールシェアスポット」

- ・公共施設やお店など、暑さを忘れて過ごせる場所や、自然が多くて涼しい場所をクールシェアスポットに位置づけ、市民に広く認知してもらうため、クールシェアマップを作成し、市内全戸に配布した。
- ・熊谷市全域のマップ→ http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/sogo/kikaku/oshirase/cool_share.files/coolshare.pdf
- ・中心市街地のマップ→ http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/sogo/kikaku/oshirase/cool_share.files/coolshare1.pdf



※「クールシェアイベント」

- ・クールシェアの取組を広めるため、PRイベントを企画・実施した。

(例)8月25日(日)10:30～16:00 熊谷こどもみらい塾 くまがやクールくる館「たのしく節電♪」マスターしちゃおう
場所:熊谷市立商工会館 主催:社団法人 熊谷青年会議所



事務局から

第12回目のニュースリリースは、埼玉県熊谷市の取り組み報告でした！！

熱中症予防声かけプロジェクトは、11月頭に【ひと涼みアワード2013】の開催を予定しています。

是非、皆様の取り組みの報告をお願い致します。

活動内容の分かる資料や写真を下記アドレスにお送り頂きますよう、よろしくお願ひ致します。

皆様の楽しい取り組み報告お待ちしています♡

熱中症予防声かけプロジェクト運営事務局:info@hitosuzumi.jp

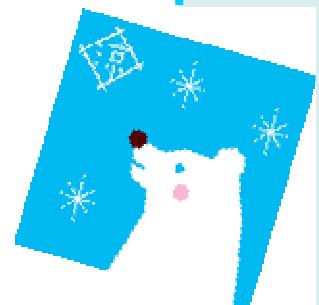
※ひと涼みアワードとは、全国の賛同会員の中から、熱中症予防・熱中症対策で優れた取り組みに対して表彰するひと涼みアワードです。また、熱中症対策に取り組む企業や自治体の声かけの輪を広げていくひと涼み交流会です。(冒頭等で環境省からあいさつをいただく予定)

～このメールに関するお問い合わせ先～

熱中症予防声かけプロジェクト運営事務局:info@hitosuzumi.jp

【対応時間】9:00～18:00(土日、祝祭日を除く)

※本メールニュースの情報を転載したい方はメールにてお問い合わせください。



発行:熱中症予防声かけプロジェクト総合運営事務局

「ひと涼みしよう」熱中症予防声かけ ニュースリリースに
掲載されている全ての記事、文章等の無断転載を禁止します。